

77 コアジサシ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Sterna albifrons

繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

種の概要

本州、四国、九州、沖縄では夏鳥。兵庫県では主に4-9月に見られる。海岸、河川沿い、湖沼に生息し、海岸の砂浜や河川の中州、埋立地などの砂礫地に集団で営巣する。主に小魚類を採食する。



写真提供:三谷康則

国内分布

北海道、本州、佐渡、見島、四国、九州、屋久島、小笠原群島、硫黄列島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、(豊岡市)、加古川市、(赤穂市)、(三木市)、高砂市、(三田市)、南あわじ市、(朝来市)、淡路市、稲美町、播磨町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからBランクに変更。

かつては主に県南部の各地で集団繁殖していたが、近年は自然の繁殖適地が減少し、造成地や埋立地の裸地で一大コロニーを形成するようになってきている。「明石市の改修工事により閉鎖された海水浴場」と「尼崎沖埋立処場造成工事中の裸地」でコロニーが確認されている。しかし、何れのコロニーも工事の完了に伴い消滅するため、造成地などでは将来にわたる集団繁殖の確証はない。



写真提供:松重和太

保護上の留意点

現在コロニーが形成されている造成地などの砂礫地が消滅した場合、本種の生息は極めて危機的な状況に陥ると考えられる。本種の保全のためには、海岸近くで一定の広さを持つ砂礫環境の確保および人工構造物の屋上などに繁殖環境を創出・維持するなどの努力が必要。汚水処理場の屋上で繁殖を成功させている例もある。また、砂浜や河川敷の砂礫地といった自然の繁殖環境の再生や繁殖期の人の立ち入り制限などの措置もあわせて行うことが必要。